

新青少年教育施設整備運営事業（PFI事業）について

令和3（2021）年6月11日 生涯学習課

1 事業の概要

(1)事業場所	栃木市岩舟町下津原（みかも山公園内北東部、とちぎ花センター隣接地）
(2)事業内容	新たな青少年教育施設の設計・建設・運営・維持管理
(3)事業期間	①設計・建設期間（開業準備期間を含む） 令和3（2021）年1月～令和6（2024）年3月〔約3年間〕 ②運営・維持管理期間 令和6（2024）年4月～令和21（2039）年3月〔15年間〕
(4)事業者	コネクト栃木(株) ※本事業を実施する目的で設立された特別目的会社

2 施設の特長

①造成による切土・盛土の抑制	▶ 斜面勾配の緩やかなエリアに建物を配置 →安全性・安定性を確保するとともに、自然との調和に配慮
②使いやすさ・ユニバーサルデザインへの配慮	▶ 1階部分に主要な諸室を集約（受付、食堂、研修室、体育館等） ▶ バリアフリー対応の宿泊室（定員6名×4室）や、片麻痺利用者に配慮した左右勝手の異なるトイレを設置 ▶ 子ども向けのローカウンター型洗面台や、高齢者等が歩行時に滑りにくい床材を採用
③県産材の活用	▶ 屋外・屋内壁等には県産木材や大谷石・芦野石を積極的に活用
④新しい生活様式への対応	▶ 分節した建物形態や開放的な設計により、風通しのよい空間を確保 ▶ 多数の利用者が出入りする場所はタッチレス化

3 関係団体等からの意見、要望等への対応

本事業の実施に当たっては、事前に社会教育関係団体や学校等関係者、施設利用団体などから意見、要望等を聴取し、事業者の提案に反映

主な意見、要望等	対応内容
①キャンプ訓練が可能な野外広場の確保	▶ キャンプサイト（25区画程度）や屋根付き野外炊事場、ファイヤーサークルのある自然体験エリアを整備
②音楽室の整備	▶ 県の既存青少年教育施設にはない音楽室を整備（約45名収容可）
③体験活動プログラムの充実	▶ 自然、地域資源等を活かした多彩な体験活動プログラムを提供 ▶ 周辺施設、地元団体等と積極的に連携した主催事業を実施
④日帰り利用者のシャワー利用	▶ 浴室については日帰り利用者も利用可能とする予定 ▶ 浴室とは別に独立したシャワーブースも設置
⑤最寄り駅間の送迎	▶ 最寄り駅や近隣スポーツ施設への送迎対応（要事前調整）を予定

4 今後の予定スケジュール

令和3（2021）年5～12月	埋蔵文化財調査
令和4（2022）年1月～	造成工事
10月～	建築工事
令和6（2024）年4月	施設開所

新青少年教育施設整備運営事業 施設の概要

※現在、事業者が実施する設計業務において整備計画の詳細を調整中

区分		内容
構造		宿泊棟・体育館：鉄筋コンクリート造+木造 野外炊事場等：木造
階数		地上2階、地下1階（宿泊棟）
延床面積		約6,000㎡
宿泊定員		約200名
主な 導入 機能	宿泊機能	洋室、和室、和洋室、バリアフリー室、談話スペース、食堂、浴室
	自然体験機能	野外炊事場、野外活動広場（キャンプサイト、ファイヤーサークル等）
	研修・育成機能	大研修室、中研修室、音楽室、体育館

【全体鳥瞰図】



【宿泊室】



和室や洋室のほかに和洋室を設置し、団体・個人、年齢・人数に合わせた宿泊対応が可能

【談話スペース】



デッキに面し、壁で仕切らずオープンな空間とすることで、施設利用者間の交流を促進

【音楽室】



吹抜け構造により天井高を確保し、吹奏楽や合唱のほかダンス等でも利用が可能

【体育館】



公式バスケットボールコート1面分を確保
(1階部分の延床面積：約800㎡)

【宿泊棟デッキ】



食堂、研修室等から直接アクセスでき、創作活動やバーベキューでの利用が可能

【自然体験エリア（キャンプサイト）】



車両を横付けできるオートサイトを含め、25区画程度のキャンプサイトを設置

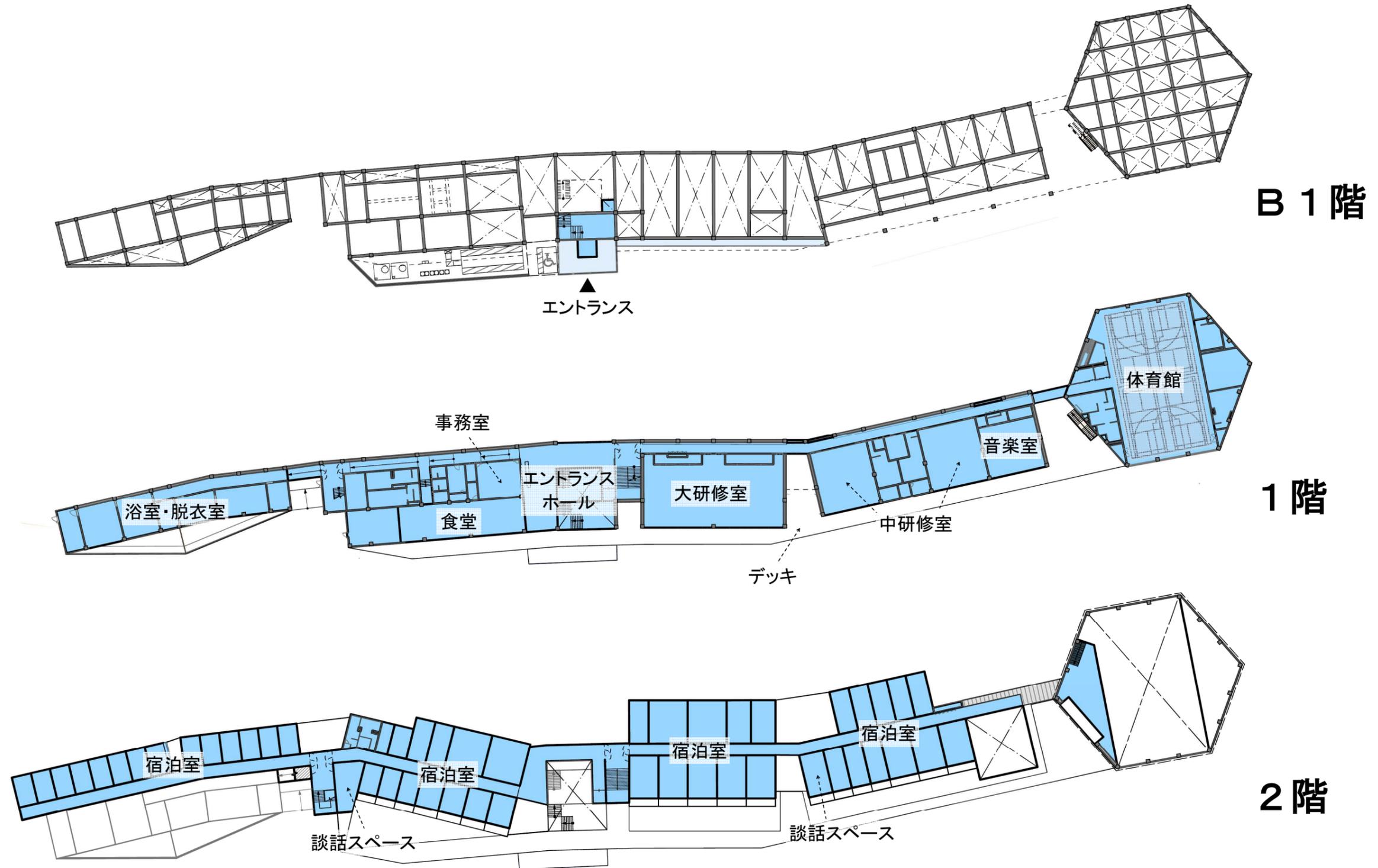
新青少年教育施設 配置図

※基本設計途中のものであり、今後変更の可能性がある



新青少年教育施設 各階平面図

※基本設計途中のものであり、今後変更の可能性がある



51